

技術向上へ講習会開催

300人が参加 排水設備を熱心に学ぶ

船橋市管業協同組合
橋本市協業
排水事業



古橋理事長

船橋市管業協同組合（古橋久治理事長）は15日、船橋市本町の勤労市民センターホールで「船橋市排水設備工事技術講習会」を開催した。写真。当日は、市内外の関係者約300人が参加。技術向上に向け、講師の解説を熱心に聴講した。講習会の冒頭、主催者を代表して古橋理事長が登壇。多くの参加者へ感

謝の意を伝えるとともに、昨年、名称を「船橋市管業協同組合」に改めたことを報告。「今後、地域の発展や安全・安心・快適な暮らしの確保へ、様々な活動を展開したい」と意欲を見せた。また、この講習会が技術の向上などを目的に、2年に一度開かれていることも説明し、「回を重ねるごとに成果も上がっている。今日の内容も日頃の業務へ役立ててほしい」と呼びかけた。また、来賓・講師を代表してあいさつに立った

船橋市建設局長岡部秀樹は、平成9年に37%だった下水道普及率が、25年末には約79%まで向上していることを報告。近隣市と比べても急速に整備が進んでいることを説明した。その上で、今後は維持管理に事業がスイッチしていくことに触れ、「指定業者の技術力向上は、そのまま市民生活環境の



長岡部長

向上につながる。高い技術力を身に付け、高品質な施工や良好な住民サービスの提供を心がけてもらいたい」と述べ、同講習会の意義を高く評価。あわせて市政発展・水道事業への協力を求めた。

同講習会は、教育情報と指定工事店の技術向上を目的に、平成9年度から2年に一度開催している。船橋市内外の排水設備責任技術者と従事者が対象。講師は県や船橋市の職員らが担当。当日は、同組合が作成した「船橋市排水設備の手引き」をテキストに使用。約2時間、メモを取るなど熱心に講義を受けた。

講習内容は、▽宅地内排水設備工事の最近の話題（講師：藤田清船橋市下水道総務課主任技師）▽消費者生活センターに寄せられる下水道工事の相談（同：野々村寛子船橋市消費者センター相談員）▽雨水浸透枳等の補

助制度（同：平山智章船橋市下水道河川管理課財産管理係長）▽排水設備の水利実験等（同：中島照明前澤化成工業㈱千葉営業所長）——だった。船橋市管業協同組合の前身である船橋市上下水道管業協同組合は、

平成10年3月に、組合員の地位向上などを目的に設立。改称した現在も、公共下水道工事の普及や下水道工事指定業者の資質向上、協定に基づく災害復旧活動など、市の発展へ全面的に協力している。

日刊建設新聞
(平成27年1月17日掲載)